

ひろば  
大代平成五 五 七  
大代公民館平成五年度 大代公民館  
社会教育の方針と事業

公民館長 田辺 孝



陽春の候 皆様には益々御清栄の事  
とおよろこび申し上げます。

さて、公民館はあくまで大代町のコ  
ミュニティの拠点として、住民による  
住民のための公民館に作り上げていか  
なくてはなりません。

先般、公民館運営委員会を開催し、  
次のような実践目標と重点事業を決定  
しました。

## ◎実践目標

● 各種団体、住民組織と緊密な連絡  
を取り合い、連携しながら仲間づ  
くりの輪を広げ、社会福祉の実現  
に努める。

● 人権尊重を基盤にひとりひとりを  
大切にし、差別のない明るく住み  
よい社会の実現に努める。

● 生き生き生活できる町づくり

※郷土愛を高める——ふる里と都  
市を結ぶ交流

※住民の健康増進と交通安全

● 町民に親しまれ信頼される潤いの  
ある（人・花）公民館に努める。

## ◎重点事業

1、都市とふる里を結ぶ交流会の事業  
を推進する。（芸能伝承）

東京石見高山会・関西高山会

2、ふる里の象徴大江高山の開発と観  
光を目指す。

3、健康な体力づくりの輪を広げる

（ウォークラリー・健康体操・町民  
体育大会）

4、同和教育の推進に努める

（PTA地域活動と人権学習）

5、広報活動を盛んに行う。

（館報—町・県外に郷土便り）

6、町を挙げて花いっぱい運動に参加  
する。（各自治会・公民館）

7、高齢者福祉事業を推進する。

（大代町の福祉ネットワーク）

8、子ども会の充実を目指す

（親子読書会・野外活動）

以上、公民館としてこれらの事業を  
通して、進歩と調和が整えられるよう

努力したいと思えます。

本年度も皆様方の御協力、御支援を  
切にお願い致します。



## Ⅱ都市交流Ⅱ

第二回関西高山会総会について

関西高山会事務局長 中本 弘

陽春の四月十八日、大田市から中田  
収入役様、市原市会議員様、大代高山  
会から田辺公民館長を始め、幹部の方  
々東京石見高山会から田中会長様が公  
私御多用にもかかわらず、多数出席を  
賜り、関西高山会役員一同深く感謝致  
します。

お陰を持ちまして盛大に会が進行し  
その目的を達することが出来ました事  
も重ねてお礼を申し上げます。

関西高山会は御案内の通り昨年三月  
二十二日結成され間のない会であり、  
結成時とはかく無我夢中で、もし失  
敗してもお許しをいただけたと思いま  
した。第二回目は、この会をより確実  
に発展させ、かつ定着化をするために  
は出席された方々全員が心から楽しか  
った、次の総会にも是非出席したいと

いう気持ちを持っていただく事であるが、その為にはどうしたらよいか役員一同で知恵を絞り、自己紹介をして印象付けをはかり、次に盆踊りか田植えばやし等の郷土の歌を会場に流し、全員が輪になって踊りをする全員参加意識を持っていただくとう考えた。

以上を取り入れた懇親会の模様を一部紹介しますと、自己紹介の結果、この会に出席された渡津先生、奥様の旧姓岡先生、藤井先生をはじめ小、中学校時代の恩師と数十年のタイムトンネルをくぐり抜け、まさに千昌夫の曲、おやし先生と同じ光景がテーブルのあちら、こちらに見られ話しに花が咲いた。

又、大代公民館にお願いした盆踊りのカセットテープに合わせて踊りの輪が出来、時間の経過を一時忘れる位、盛況であった事をお伝え致します。

尚懇親会の前の総会には、過疎と高齢化の大代町の現況や課題が故郷からの来賓の方々の祝辞の言葉の端々にうかがわれた。

故郷への思い入れは、遠く離れた人より残る人の方がはるかに強いとある

記事で読んだ事がある。

故郷は遠くにありて思うものと諺があるが、たまには私共都会に居住している者が、遠くからばかり眺めないで、毎年八月十五日は大代公民館の「都市とふる里の交流会」に出席し、あのなまり言葉、人情、またいつも変わらぬ大江高山、八反田の川を見ながら明日への活力とゆとりを発見することも必要ではないでしょうか。

最後に第3回関西高山会総会は来年六月に実施が決まりました。役員一同知恵を出し合い期待に添えるような会の運営をしたいと考えておりますので御出席を心からお待ちしております。

大代中学校に赴任して

大代中学校教頭 嘉儀宏一



冬芽も一斉に新葉に変わろうとしている、まだ明るい雑木林の下の野草が白、黄、紫と可憐な花を咲かせている四月当初、中学校に赴任しました。

野外観察では美しい雉が目前を低空飛行するなど、大江高山を背景にした

草原の一時に感動したり、まだ一か月という短い期間ですが、大代の地域の人々の歓待を受け、豊かな自然の中で明るく純朴な生徒と接し、大代の地域ぐるみの教育のすばらしさに驚嘆しています。

学校教育も目まぐるしく変化する社会に対応すべく、多くの問題を抱えている今日ですが、今年度から中学校でも新教育過程（新指導要領）の完全実施をすることになっています。

開かれた学校とか、地域ぐるみの教育は大代では従来からの教育ですが、心の教育が叫ばれている今日の全国的な課題でもあります。

私も公民館活動など地域との人々と連携した教育活動の推進に、役立つ人にならねばと決意も新たにしているところです。

自立しようとしている子どもたちに親として、地域社会人として大きな期待がなされていると思います。

学校内でも、また社会教育活動の発展充実のために、微力ではございますが努力する所存ですのでよろしくお願い致します。

毎月第三日曜日は「家庭の日」

青少年育成島根県民会議

毎日が楽しい家庭であるよう願っても、いつも忙しい仕事に追われ、ともしれば家庭での人間的接触がうすれがちです。そこで、家族みんなが温かく心の触れあう機会をもち、明るく楽しい家庭づくりをする日として、毎月、第三日曜日を「家庭の日」として定めたのです。いつになつたも忘れない、なつかしい「家庭の味」「心のふるさと」をつくる日、それが「家庭の日」です。

●健全な家庭を作るために

●家族は互いに朝夕のあいさつをかわしましょう。

●家庭の仕事はみんなで分担しましょう。

●家族みんなで一日のでき事を話し合いましょう

●家族そろって夕食を共にしましょう。

●地域での子育て

●地域づくりにつとめましょう。

●野外に出かけ自然に親しみましょう。

●スポーツを楽しみましょう。

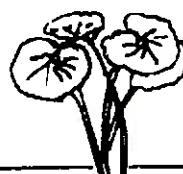
●奉仕の心でふれあいましょう。

これらの事を念頭に入れながら、具体的に計画し行動に移したいものです。※子どもの心情は生活体験や風景によつて育ちます。

自治会紹介

俺がとこさの自慢は？

川上 熊谷徳夫



「俺が郷トコロの自慢ウレシの種タネは」と問われれば即座に「自然の美しさと人情の細やかさ」と答える。

然し、それでは「何処も同じではないか」とくる。こんな質問を急にされると、すらすらと答えが出てこなくて本当に戸惑いますヨネ。

雄峰大江高山の北西斜面の峡谷に、源を発する大家川の歴史と共に拓けた上流部二Km強区間の流域に点在する戸数二十三戸、在宅人口七十五名が川上自治会です。

地名の由来も、川の最上流に位置するため、素朴に極く自然発生的に川上と呼ばれたものと思う。集落の北端は文字通り、大江高山の麓で南端とは標

高差にして優に百M強はある。

このことは冬には集落の中央を北進するメインロード（市道）の曲がり角曲がり角で積雪量を変化させ、雪解けも又同じ様に違いを見せる。

そして、道路沿の自然の草花も、それぞれに季節感の違いを見せる。居乍らにして季節折々、山川草木の微妙な変化を楽しむことが出来ます。

こんな恵まれた、自然環境のもとで育った為か、人々も又応揚で忍耐強く勤勉な人が多い。然し、現実の風は厳しく、私連自治会でも、多間に漏れず一人住まいのご家庭も四戸を数え、症候群の数も又数多である。顕著に集落の高齢化が進捗している。

このままでは、本当に集落機能が保持出来なくなる怖れが生ずる。さりとて、特効薬はない。ここは地域住民が連帯感を深めながら、一尽努力し、地域の活性化に務めることが大切である。

そして、行政サイドには今以上にキメの細かい定住対策を早急に具体化し若者が、夢と希望の持てる環境作りを促進してほしい。

二十一世紀はもうそこまで来ているのだから。いつの時代でも、若者のエネルギーが時代をリードするものです。その昔、川上地区は文明開化のシンボルと言われた電気による「明るさ」という恩恵を受けたのが、大家地区で最も遅かったと思います。

それは終戦直後の昭和二十一年夏、世情混沌とし、食料事情も厳しく、資材難の時、行政の力も借りず、勿論補助金もない時、自治会独自で対外折渉から工事の契約。実施。

内では集落の意志の取りまとめ、資材の調達等の総てを共通の目的で結束し、連帯感を高めながら、各々の背で運び、苦勞しながら悲願である待望の電気を灯した先輩達がいた。

今は皆七十代をはるかに越すお歳、今去ること、約半世紀前の若かりし、二十代、三十代でのエネルギーの燃焼でした。

こんなすばらしいバイタリティを持った自治会。いつまでも眠れる獅子であるはずはないと思いつつ……

期待感をこめて。

安らぎと潤いある

花の町にしよう

大代町連合自治会

昨年、始めて大代町連合自治会として、大代町を花の町にしようとして各自治会に呼びかけました。お陰様で昨年は大代市の花いっぱいコンクールで努力賞を頂きました。

本年度も自分の足元の自治会館や治道等を花で飾りたいものです。

花づくりを通して、それぞれの自治会内のふれ合いがあれば、明るい住みよい心豊かな町へと発展していくことでしょう。汗と愛と喜びを心に秘めて頑張りましょう。

唱歌の旅

(五月)



「せいくらべ」

一、柱のきずは おとしの

五月五日の せいくらべ

ちまき食べ食べ にいさんが

計ってくれた せいのため

きのうくらべりゃ なんのこと

やっとはおりの ひものたけ

二、柱にもたれりゃ すぐ見える

遠いお山も せいくらべ



雲の上まで 顔出して

てんでに せのびしていても

雪のぼうしを ぬいでさえ

一はやっばり ふじの山

二十一世紀 山陰の夢

「子ども等よ」

山陰新報社公募佳作入選作品

飯谷出身 原田萬里

東の空、茜色に染まれば

ねむれる里 シルエットの如く

浮き出す

裾野には 先人の生きた証見ゆ

幾千年 山笑い 山眠る

古里の山は 私達を抱き育てくれる

子ども等よ 古里の山を愛せよ

里のはじめに 泉あり

幾条の水を集めて 川となり

土地を肥やして 美田をつくる

永遠に 故郷を潤す

清濁を併せて 流る、川の如く

子ども等よ 自然に学びしぜんに育て

白砂青松の 日本海

ひたひたと寄せる波 浜辺に少しすこし 滲む

慈母吾を抱き 愛を滲ませる如し  
この海の果てに 世界は続く  
キリリッと瞳を開き よく視よう  
子ども等よ 地球社会はすぐ近い

昭和六十二年元旦

### 交通安全表彰

||平成四年度後期||

大代町第一位!



平成四年度後期に於て、大田市交通安全無事故無違反運動で、大代町は第一位の成績、去る四月六日、大田市交通安全対策協議会長、同交通安全協会長、同警察署長より表彰状を受領致しました。

これは地域の皆さんの連帯感と安全意識への熱意がもたらしたものと思われれます。平成五年度も更に立派な成績が得られる様、皆様の御協力をお願い致します。

### ◎生活のしおり

知っていたら絶対トクする

こんな話 ご存知ですか?

★(米びつに虫がわかない方法)



サンショウは虫除けになります。サンショウの葉をよく乾かして、葉が砕けない様にガーゼに包んで、米びつの中に入れておくと、虫が付きません。

★(煮豆は魔法びんで煮る)

時間もかかればガス代もかかる煮豆ですが、魔法びんを使えば省エネになります。豆一に対して熱湯三の割合で魔法びんに入れ一日おきます。これだけで七割がたは煮えます。赤飯用の小豆なら、このままで使えます。

★(ガソリンは朝入れるとトク)

車に入れるガソリンは温度が上がれば容積も大きくなり、冷えれば小さく成ります。朝、温度の低いうちにガソリンを入れると、夜入れるよりもずっとガソリン代の節約になります。よく車を使う人なら、年間にすると数万円もトクになるのです。

### ◎クイズ

(やわらか天才に変身しましょう)

1、トノサマガエルはとても男らしい  
それでは女らしいカエルは?



2、桃太郎とその家来が鬼ヶ島へいった時、カギのかかった門の中に最初に入った動物は?

3、体の調子が悪いので病院に行ったら、お医者さんはニコニコしているだけで、何も言ってくれない。「先生どこが悪いんですか?先生!」さて、どこが悪かったのかな?  
(答えは六月号で)

\*\*\*\*\*

\* 5月の行事予定 \*

◆5日(水) 子供の日 野外活動

◆8日(土) ゲートボール大会

◆12日(水) ツベ反応予防接種

◆14日(金) BCG 予防接種

◆14日(金) 幼母の役員会

◆17日(月) JA地区総代会

◆24日(月) 身障者協会役員会

おしらせ

◎社協大代支部より

下市 佐藤イツヨ様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。